

市民向け防災セミナー 「札幌の気候変動と、異常気象への備え」を開催

豊平区ネットワーク会議の交流会終了後、午後3時から豊平区主催による市民向け防災セミナー「札幌の気候変動と、異常気象への備え」が開催された。

これは、近年多発している異常気象について理解を深め、地域の防災に役立てようと開催されたもの。北海道テレビ放送の番組などで気象解説を担当している宇野日和（うの・ひより）さんを講師に迎え、豊平区民ら約100人が参加した。

宇野さんは、気象予報士の目線から、異常気象とはどういうものか、地球温暖化が進んだ未来の気象がどのようになるかを、真夏日や真冬日の日数予測などを基に解説。地球温暖化により海面水温が上昇すると、雨雲が発達しやすくなり、一度に降る雨や雪の量が多くなる可能性が高まるという。さらに、天気予報を正しく理解するポイントや、豊平区に特化した雪予報についても実用的なアドバイスが送られ、普段から気象情報に関心を持つことで防災につなげてほしいと呼びかけた。

講演後には、参加者から講師への積極的な質問が相次ぎ、アンケートの回答では「天気予報の専門用語がわかりやすく説明されていた。」「気象予報を見る視点を教わり勉強になった。」「気候変動がもたらす影響について知識が深まった。」など異常気象への理解や防災意識が高まっている様子が伺えた。

この講演会の様子は、期間限定で動画配信もしていますので、ぜひご覧ください。

URL : <https://youtu.be/Vv2mo9n9QrA>

二次元コード：



<講演会の様子>



<講師：宇野日和さん>

発行 豊平区市民部総務企画課

〒062-8612 豊平区平岸6条10丁目 電話 011-822-2405



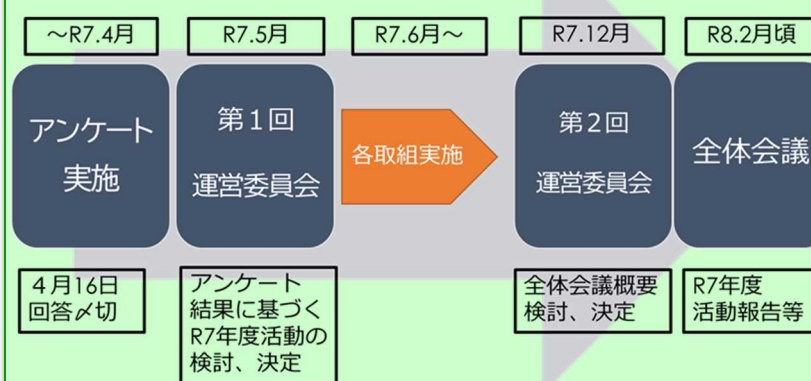
<松浦 議長>

「令和6年度全体会議」を開催
2月19日（水）午後2時から、豊平区ネットワーク会議の令和6年度全体会議が豊平区民センターで開催され、町内会役員や各種団体の関係者など約30人が参加した。冒頭、松浦孝之議長（南平岸地区町内会連合会会長）から「ネットワーク会議は、私たちのまちでどのような事業が行われているか、そこにある課題があるかを知り、意見を出し合う場。連携してまちづくりを進めていくことが大切。本日の会議で話し合われたことを、各地域や団体に持ち帰って、今後の活動に生かしていただきたい。」と挨拶があり開会となった。

続いて、石川豊平区長から、日頃からそれぞれの立場で豊平区のまちづくりに協力をいただいていることへの感謝が述べられ、「地域で活躍されている様々な団体が一同に会す貴重な場。会議が実り多いものになるよう祈念する。」と挨拶し議題に移った。
議題は「令和6年度の取り組み報告等」で、9月に行われた札幌市総合防災訓練への参加報告や、「とよサポネット」の試行実施結果、令和7年度の想定スケジュール等について報告があった。
また、総会終了後には、専用のAR（仮想現実）ゴーグルを装着して行う消火体験コーナーや、タブレット端末を使用して、周りの風景に水を重ねて浸水被害体験ができるコーナー、血管年齢や骨密度などの健康測定コーナーが設置され、多くの来場者が体験した。
なお、令和7年度のスケジュール及び体験コーナー等の模様は以下の通り。

令和7年度の取り組み

<<年間スケジュール>>



<<令和7年度の取り組みについてのアンケート>>

ネットワーク会議の枠組みを利用して、防災関連で他団体と共同実施を希望する取組等を募集しています。

※4月16日（水）が提出締め切りとなっておりますので、期限までの回答にご協力をお願いします。



<体験コーナーの様子>

豊平区ネットワーク会議
ニュース



2025年
(令和7年)
3月発行
第18号

豊平区のまちづくりについての情報をお届けします